



文 武 両 輪

～勉強も行事も部活動も～

令和5年 6月 6日

【文責】校長 蔦川 誠

夢をかなえるためには？

6月1日(木)の生徒集会で、「夢」というテーマで講話をしました。

夢をかなえる方法として、5つの方法があることをお話しました。

1つ目は、「夢に期限を入れることで、夢を目標へと変えること」です。期限を入れることで、夢がはっきりとした形のある目標となります。例えば、ある仕事に就くために1、2年後にその仕事に結び付く高校に合格する、というはっきりした目標ができるということです。夢のままだといつまでも頭の中にあるだけですが、目標ができることで行動につながって実現に少しずつ近づいていくことになり、確実に前に進むこととなります。

2つ目は、「まずは自分の夢を1つかなえてみること」です。この場合は大きな夢ではなく、小さな夢あるいは、すぐに実現できる夢をかなえることがポイントです。例えば、「前から欲しかったものを買う」、「行きたかった所に行く」、などの夢を1つ確実にかなえることで、自信が生まれ、パワーと勇気が湧き出てきます。人は何かを達成することで自信が生まれます。自分の脳に「自分はできる、夢をかなえる力がある」ということを覚えこませること、無意識の中に刷り込ませることが大切です。

3つ目は、「失敗しても大丈夫と思える自分になること」です。失敗の経験がたくさんある人ほど「こうするとうまくいかない」方法を知っていることになるので、逆にうまくいく方法がよく分かるものです。中学校時代の今の時期は「失敗しても大丈夫」です。トライアンドエラーを重ねることで、より成功に近づいていくことが大事です。

4つ目は、「自分の好きと得意を生かすこと」です。その方法を実現して、現在大活躍しているのが、メジャーリーグのエンジェルスの大谷翔平選手です。大谷選手のすごいところは、投打二刀流の成績もそうですが、その考え方です。打率、勝率、勝ち星、ホームラン数などの成績にこだわる選手が多い中で、成績ではなくて常に自分の力を伸ばすということを意識しているところです。大谷選手の主な関心は、昨日の自分よりは今日の自分がさらに成長するということだそうです。皆さんにも、ぜひ参考にしてみたいと思います。

5つ目は、「まずは行動すること」です。行動しないことには何も始まりません。頭の中ではどんなことでもできますが、現実はいかにいかないことの方が多いと思います。思い通りにいかないのが現実ですが、しっかりと向き合っていく必要があります。

では、中学生が自分の夢をかなえるために、どのような手段をとっているのでしょうか。中学校を卒業してすぐに働く(就職する)生徒は、ごくわずかです。(青森県内のデータだと約0.1%)ほとんどの中学生が高校進学しているという現実からも、夢をかなえる手段として勉強することを選んでいきます。

夢をかなえるためには、やはり目標を決めていっぱい勉強する必要があります。あと大事ななのは「学校での勉強は、授業と授業以外でするもの」であり、授業を大切にすること、そして学力を伸ばすことは大事なことです。それと同時に、授業以外の学校での活動もすべて勉強です。友達と協力する、よい人間関係をつくる、係の仕事を責任をもって果たす、部活動の練習に励んで技術を向上させる、チームワークを強くするなど、これらのことはすべて、大人になってからとても役立つことばかりです。中学校時代に学ぶべき大事な勉強です。

皆さんがこれから夢をかなえるために、今日のお話を参考にしてくれることを期待しています。